ITスキル実習2

NE20-1088A 初原 圭一

目次

- 概要
- 課題と目的
- 想定ユーザ
- 利用イメージ
- 現在の達成状況
- システムの説明
- 必要な機材や機能
- コアとなるセンサーデータの活用方法
- 実行画面
- 今後の課題

概要

- MacBookのCPU温度を取得
- その後温度に応じてメールを送信するシステム

課題と目的

パソコンの寿命が短くなるのを防ぐため

想定ユーザ

- 神奈川県在住
- 職業:大学生
- 趣味:ゲーム
- 最近の悩み: MacBookAirを課題の ために使っている ウインド ウを開いたままにしがち



利用イメージ

- ターミナルを使いpythonファイルを実行
- CPUの温度が一定の温度を超えている場合、メールでお知らせしてくれる

現在の達成状況

- MacBookのCPU温度を取得
- 最新のデータを抽出
- 温度によってメールが来るかを決める

必要な機能

ファイル: get_cpu_temp.sh

cpu_temp.dat

update_channel.py

機材、機能: MacBookAir

ターミナル

コアとなるセンサーの活 用方法

コアとなるセンサー: MacBookAirのCPU 温度センサー

活用方法:本体から温度のデータを取得して活用

実行画面

温度を取得

```
. .
                          ata - -zsh - 86×32
eiichi@keiichinoAir data %
```

pythonで実行

```
000
```

今後の課題

メールではなく、LINEに通知が行くように したい